

令和5年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	2	学校名	国際中学校・国際高等学校
----	---	-----	--------------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	グローバル探究
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	グローバル探究は、中学校と高等学校の全学年で取り組む学校設定科目である。グローバル探究では、ローカルな問題をグローバルな視点で捉え、世界に通じる解決策を考えて実践する活動を行うことを目標とする。
連携・協働相手	奈良県、生駒市、登美ヶ丘南公民館、秋篠川源流を愛し育てる会
地域と共有している目標・課題等	グローバル探究での取組を通して、地域の問題を発見し、それをグローバルな視点で問題解決に導く手法を考えて実践する。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>生徒が地域の問題や課題を調査し、それをグローバルな視点で分析した。その上で、各グループが異なる分野や国の事例を調査し、比較・検討を行った。そして、世界に通じる解決策を提案し、実際に地域で実践するプロジェクトを立案し、地域の方の協力を受けて実施した。最後に、地域住民を招いた場で学びの成果を発表した。</p>	

2. 事業の成果と課題

地域にある課題に目を向け、それを地域の人々と協働して解決する取組を学校全体で共有することができた。また、その活動を通じて、自分たちがどう生きるか、何を正しいと思い行動するか等、生徒たちは卒業後の人生にもつながる価値観を常に問いかけることができた。また、これまでに継続して実施してきた地域との協働活動のために、生徒たちは卒業生や先輩をロールモデルとして、積極的に地域と繋がる姿勢をもつことができた。

中学生を含めて学校全体で12月に行った発表会では、地域の方を招き、生徒代表による発表を実施した。また、12月に地域の公民館で行われた展示会で、生徒の活動内容を展示するとともにパンフレットの配布を行った。

【本事業に関わった生徒の感想】

生駒市が推進するコンポスト活用事業に着目し、生徒への情報発信やコンポストの普及活動を行った。地域にある問題を解決する経験を生かして、将来は、グローバルな問題にも対応できる仕事において役立てたい。この活動で得た企画力やコミュニケーション力、行動力を生かしていきたい。

